



特集：第2期京都府教育振興プラン  
令和3年度当初予算  
新型コロナウイルス感染症対策  
文部科学大臣優秀教職員表彰  
教育相談・修学支援

## 新しい教育振興プラン 教育環境日本一を目指して

京都府教育委員会はこのたび、今後10年間を見据えた新しい京都府の教育を進めていくための指針として、「第2期京都府教育振興プラン」を策定しました。

時代は大きく変化しています。学ぶことや働くことなど生き方に関する人々の価値観もまた、大きく変わろうとしています。こうした時代の教育は、どのような人材を社会に送り出していくのか。どのような力をはぐくむべきなのか。

新型コロナウイルス感染症によるかつてない長期の学校休校を経験しながら、2年かけて様々な場で意見交換を行いとりまとめたものが、新しい教育振興プランです。

基本理念の核である【目指す人間像】を、「めまぐるしく変化していく社会において、変化を前向きにとらえて主体的に行動し、よりよい社会と幸福な人生を創り出せる人」とし、そして、そのために【はぐくみたい力】として、「主体的に学び考える力」「多様な人とつながる力」「新たな価値を生み出す力」を掲げました。

誰もが、かけがえのない一人の人間として、周囲の人々に支えられ、生かされています。

しかし、それを感じることができなければ、その想いに応えて「がんばろう」という気持ちは生まれません。

私たちは、すべての子どもに、愛情や信頼や期待などに「包み込まれているという感覚」を持ってもらい、それを揺らぐことのない土台として「自己肯定感」をはぐくみ、予測が困難な社会においても主体的に学び考えることができる力や、失敗しても再び挑戦できる強い心を身に付けてほしいと考えています。

高い専門性をもって、日々子どもたちに寄り添う学校の教職員のみなさん。すべての教育の出発点である家庭の保護者のみなさま。そして、コミュニティの一員として子どもたちを迎え入れてくださる地域のみなさま。

教育に関わるすべての方々に、すべての子どもたちを見守り、支え、伸ばしていただくこと。それが、子どもたちが自分自身の力で新しい扉を開くための力になります。

誰もが、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる「教育環境日本一」に向けて、みなさまと手を携えながら、教育振興プランに基づく様々な取り組みを全力で実行してまいります。

どんなことをして  
いくの？

# 第2期「京都府教育振興プラン」を解く

令和3年度当初予算  
(2月補正予算を含む)



## 京都の人づくりは どこを目指すのか？

教育振興プランは長期的な展望に立って、京都府の教育の目指す方向を示すもので、「京都府ならではの教育」の基本となる計画として、とても大切な役割を持っています。

第2期となるプランでは、6つの教育分野ごとに「目指す教育の姿」を掲げており、大きな特徴のひとつです。その「目指す教育の姿」に到達するために、取り組まなければならない課題や目標を整理しています。

今回は、京都府の人づくりはどこを目指すのか、また、プランを着実に進めていくためにどのような予算を計上しているのか、令和3年度の主な施策をご紹介します。

プランについての詳しい内容はこちら→



## 特集 「教育環境日本一プロジェクト」始動

教育の各分野ごとに整理した6つの柱では187の取組を掲げています。

その取組の中で、それぞれの柱にまたがる重要な課題に対して、新しい時代の必須アイテムであるICTを積極的に活用しながら、重点的かつ横断的に進めていくことを「教育環境日本一プロジェクト」と位置づけています。

このプロジェクトを始動させることにより、京都府が掲げる「子育て環境日本一」の実現に向けて欠かすことができない「教育環境日本一」を目指します。



### 基本理念

「教育にかかわるすべてのものが大切にしたい思い」

#### 自己肯定感

「はぐみたい力」  
主体的に  
学び考える力

「はぐみたい力」  
多様な人と  
つながる力

#### 「目指す人間像」

めまぐるしく変化していく社会において、  
変化を前向きにとらえて主体的に行動し、  
よりよい社会と幸福な人生を創り出せる人

「はぐみたい力」  
新たな価値を  
生み出す力

「教育に関わるすべての者が大切にしたい思い」  
包み込まれているという感覚

### 基本理念を実現するための6つの柱



特集

### ICTの積極的な活用 共通アプローチ

- ◆ 児童生徒1人1台端末の整備と非常時等における学びとつながりの保障
  - ・ 双方向によるオンライン授業や家庭学習の支援
  - ・ 不登校児童等に対する遠隔授業などセーフティネット体制の整備 等
- ◆ データの分析・活用による新しい学習支援
  - ・ スタディ・ログ(学習履歴)の導入による個々の学習内容の蓄積
  - ・ CBT(コンピュータを用いた学力テスト)の導入による指導・支援 等
- ◆ 新時代の学習指導体制の構築と働き方改革の推進
  - ・ 教科担任制の導入
  - ・ 働き方改革に向けた業務の効率化 等
- ◆ 府立学校イノベーションと地域連携の推進
  - ・ コミュニティ・スクールの導入や地域・NPOとの連携の推進
  - ・ 部活動の地域連携・移行の推進 等
- ◆ 子どもたちが学びやすい施設整備の推進
  - ・ 職業学科における最先端の産業教育施設・設備の導入
  - ・ 学校施設の大規模改修、トイレの洋式化の推進 等

1

新 ICTを活用した学びの推進 ----- 6億9,760万円

▶ 全府立学校でのICTを活用した授業の実施に向けて、1人1台端末の導入を進めます。

ICT利活用のための体制整備 ----- 1,700万円

▶ 「ICT利活用官民連携サポートセンター」による支援体制を拡充します。

新 次世代型学力・学習状況調査実証研究 ----- 1,200万円

▶ 学力調査をタブレットなどで行うとともに、学力の伸びを把握する手法について研究します。

新 国内バーチャル留学の実施 ----- 2,000万円

▶ コロナ禍でも海外の生活などに触れられるよう、オンライン形式の研修プログラムを実施します。

2

不登校児童生徒支援拠点の整備 ----- 1,800万円

▶ 「教育支援センター」でのスクールカウンセラー(臨床心理士)などの専門人材による支援を拡充します。

スクールカウンセラー等の配置・派遣 ----- 5億787万円

▶ 引き続き学校への配置・派遣を実施します。

向日が丘支援学校の再整備 ----- 2億1,100万円

▶ 改築に向け整備を進めます。

3

新 府立高校における部活動指導員の配置等 ----- 3,330万円

▶ 教員に代わり部活動顧問業務全般を担う指導員を高校にも配置します。

新 地域と連携した部活動の在り方検討 ----- 470万円

▶ 働き方改革にもつながる持続可能な部活動の充実のための検討を進めます。

4

学びのセーフティネット ----- 7億894万円

▶ 府立高校生対象の「奨学のための給付金」について住民税非課税世帯への給付額を増額します。

働き方改革の推進 ----- 12億5,362万円

▶ 外部・専門人材を配置・派遣するなど、教員が授業等に集中できる環境を構築します。

新 職業教育設備の充実 ----- 21億円

▶ 職業系専門学科を持つ府立高校にデジタル化に対応した産業教育機器を一斉に整備します。

5

コミュニティ・スクールの推進 ----- 729万円

▶ 地域に開かれた魅力ある学校づくりに向けて、府立学校にも本格導入します。

新 地域協働型教育の推進 ----- 3億2,000万円

▶ 「地域交響プロジェクト交付金・重点課題対応プログラム」に「協働教育」分野を追加します。

6

新 課題解決型学習を実施 ----- 300万円

▶ 地元文化財をテーマに、自ら問題を発見し解決する力を養う学習を小学校で実施します。

国宝・重要文化財建造物の保存修理等 ----- 13億4,515万円

▶ 社寺など所有者からの委託による保存修理工事などを実施します。

新 は令和3年度から開始する施策

# 新型コロナウイルス感染症対策

## どんなことをしていくの？

新型コロナウイルス感染症の感染を防ぎながら、安心・安全な教育環境を整え、いかなるときも子どもたちの学びを止めないために、右のような予算を計上しています。

## 学校をサポート していただける方を 募集しています。

- ✔ 特別な資格（教員免許等）は不要
- ✔ 場所は府内の小・中・高校・特別支援学校等（京都市立を除く。）

募集する主な業務内容

- 教室の換気や検温等の感染症対策
- 学習プリントの印刷・配布準備
- 学習支援 等

教職員人事課

TEL:075-414-5799・5780

登録フォームはこちらから→



### 衛生環境の対策

6億745万円



- ▶ 学校の感染防止対策に必要な消毒液やマスクなどの衛生用品を府立学校に追加配備
- ▶ 特別支援学校スクールバスの過密化を避けるため運行を増便

### 学習環境の対策

4,538万円



- ▶ 府立学校の教室において夏季・冬季に換気を徹底した空調管理を実施

### 学びのセーフティーネット

9億1,418万円



- ▶ 学校配備のタブレット端末や家庭学習のためのモバイルルーターを貸出
- ▶ 「奨学のための給付金」について住民税非課税世帯への給付額を増額
- ▶ 特別支援学校のオンライン学習に必要な通信費を低所得世帯等へ給付

### スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザーの配置・派遣

9,545万円



- ▶ 引き続き学校への配置・派遣を実施

### 学習支援員、心の居場所サポーターの配置

2億237万円



- ▶ 学習支援や子どもたちの相談を受け持つ学習支援員・心の居場所サポーターを配置

### スクール・サポート・スタッフの配置

4億8,011万円



- ▶ 教員の事務作業補助や校内の消毒等を担うスクール・サポート・スタッフを配置

新型コロナウイルス感染症への対応について  
詳しくはこちらから→



## 令和2年度文部科学大臣優秀教職員表彰 被表彰者

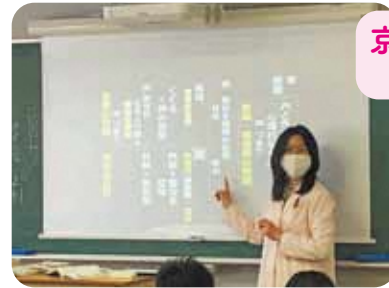
### 【教職員】

福知山市立成仁小学校	教諭	八板 貴子
南丹市立園部第二小学校	教諭	日下部 明子
木津川市立棚倉小学校	教諭	瀬戸 陽子
宇治市立宇治中学校	教諭	岩井 佳慧
向日市立勝山中学校	教諭	島津 真紀
京丹後市立峰山中学校	教諭	平林 稔久
京都府立鴨沂高等学校	教諭	向高 亜由美
京都府立西乙訓高等学校	教諭	宮本 直人
京都府立加悦谷高等学校	教諭	木村 純樹
京都府立向日が丘支援学校	栄養教諭	栄浪 淳子

※在籍校は受賞当時の学校

### 【教職員組織】

府立清明高等学校ICT教育推進会議（京都府立清明高等学校）



京都府立鴨沂高等学校  
教諭 向高 亜由美

国語科において、その指導力を遺憾なく発揮し、平成29・30年度には京都府教育委員会が設置した「高大接続研究チーム」のアドバイザー

として、京都府の国語教育を牽引しました。

生徒たちが卒業後に出ていく社会ではどのような力が必要で、その力を身に付けさせるために今できることは何なのかを考え、不易と流行のバランスをとりながら、授業の実践に取り組んでいます。

## ひとりで悩まないで!

いじめられる、学校に行きにくいなど、悩みや不安が一人では抱えきれないほどあふれてくる場合があります。京都府教育委員会は、そのような悩みについて一緒に解決の方向を探っていきたくと考えています。

### 電話教育相談

ふれあい・すこやかテレフォン  
(24時間受付)

075-612-3268  
または 3301  
0773-43-0390

### メール教育相談

「メール教育相談 京都」で検索してください。携帯電話からも相談できます。

※携帯電話の場合、受信拒否設定を解除してください。



### ① ネットいじめ通報サイト

ネット上でいじめを発見したら通報してください。



### ② 体罰専用電話

075-612-5013  
(毎週水曜日 11:30~18:30)

### 来所教育相談

京都府総合教育センター（伏見区）及び北部研修所（綾都市）で、臨床心理士、精神科医などが直接会ってお話をうかがいます。

### 巡回教育相談

お住まいの近くの教育局などに臨床心理士が出向き、直接会ってお話をうかがいます。

来所・巡回教育相談のお申込みは、「ふれあい・すこやかテレフォン」にお電話ください。

## 家計が急変した世帯の高校生などへの支援

失業や休業などにより収入が減り家計が急変した場合、修学資金の貸付をいつでも申請することができます。修学資金を返還している場合は、返還の猶予（返還の先延ばし）ができます。

また、失業などにより保護者など（親権者全員）の住民税所得割が非課税相当となった場合、返済の必要のない給付金の申請ができます。

詳細は、ホームページをご覧ください。電話でお問い合わせください。

高校教育課修学支援係 TEL:075-574-7518

修学支援事業ホームページ→

